

〔1〕 次の文は、電波法施行規則に規定する「アマチュア業務」の定義であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「金銭上の利益のためでなく、もっぱら個人的な無線技術の興味によって行う自己訓練、通信及び その他総務大臣が別に告示する業務を行う無線通信業務をいう。」

1. 技術的研究
2. 公共の福祉
3. 災害の救援
4. 社会福祉

〔2〕 アマチュア局の免許人が、あらかじめ総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）の許可を受けなければならない場合は、次のどれか。

1. 免許状の訂正を受けようとするとき。
2. 無線局の運用を休止しようとするとき。
3. 無線設備の設置場所を変更しようとするとき。
4. 無線局を廃止しようとするとき。

〔3〕 単一チャンネルのアナログ信号で周波数変調した電話の電波の型式を表示する記号は、次のどれか。

1. F 3 E
2. A 3 E
3. J 3 E
4. F 2 D

〔4〕 無線従事者が免許証を失って再交付を受けた後、失った免許証を発見したときは、発見した日からどれほどの期間内にその免許証を返納しなければならないか。次のうちから選べ。

1. 7日
2. 10日
3. 14日
4. 1か月

〔5〕 免許人が電波法に基づく処分に違反したときに、その無線局について総務大臣から受けることがある処分は、次のどれか。

1. 無線従事者の解任命令
2. 通信の相手方の制限
3. 電波の型式の制限
4. 運用の停止

〔6〕 無線局の免許人が非常通信を行ったとき、電波法の規定によりとらなければならない措置は、次のどれか。

1. 中央防災会議会長に届け出る。
2. 市町村長に連絡する。
3. 都道府県知事に通知する。
4. 総務大臣に報告する。

〔7〕 免許人が、1か月以内に免許状を返納しなければならぬ場合は、次のどれか。

1. 無線局の免許を取り消されたとき。
2. 無線局の運用の停止を命ぜられたとき。
3. 免許人の住所を変更したとき。
4. 臨時に電波の発射の停止を命ぜられたとき。

〔8〕 電波法の規定により、無線局がなるべく擬似空中線回路を使用しなければならないのは、次のどの場合か。

1. 他の無線局の通信に妨害を与えるおそれがあるとき。
2. 工事設計書に記載した空中線を使用できないとき。
3. 無線設備の機器の試験又は調整を行うとき。
4. 物件に損傷を与えるおそれがあるとき。

〔9〕 次の文は、無線局運用規則の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、 」

1. 初めから更に送信しなければならない。
2. 通報の送信が終わった後、訂正箇所を通知しなければならない。
3. 直ちに訂正しなければならない。
4. 適宜に通報の訂正を行わなければならない。

〔10〕 アマチュア局が呼出しを反復しても応答がないときは、できる限り、少なくとも何分間の間隔をおかなければ呼出しを再開してはならないか。次のうちから選べ。

1. 3分間
2. 5分間
3. 10分間
4. 15分間

〔11〕 無線電話通信において、「さようなら」を送信することになっている場合は、次のどれか。

1. 無線機器の試験又は調整が終わったとき。
2. 通報を確実に受信したとき。
3. 通報の送信を終了したとき。
4. 通信が終了したとき。

〔12〕 無線局が無線機器の試験又は調整のため電波の発射を必要とするとき、発射する前に自局の発射しようとする電波の周波数及びその他必要と認める周波数によって聴守して確かめなければならないのは、次のどれか。

1. 非常の場合の無線通信が行われていないこと。
2. 他の無線局の通信に混信を与えないこと。
3. 他の無線局が通信を行っていないこと。
4. 受信機が最良の状態にあること。